

ボッチャ競技実施要領

1 競技規則

令和5年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則(公益財団法人日本パラスポーツ協会制定)によるもののほか、この要領に定めるものとする。

2 チーム編成

- (1) 男女の区別なく座位の選手1名及び立位選手1名にてチームを構成する。
- (2) チームの1人は、キャプテンとして腕章を装着して試合を行う。
- (2) 障がいの程度に応じて、競技アシスタントまたはランプオペレーターをつけることができる。
- (3) チームには、コーチを1名配置することができる。

3 競技方法

- (1) 参加出場チームによる総当たり戦とする。
- (2) 順位は勝数、得失点差、総得点数、総失点数で決定する。
- (3) 試合は2対2のペア戦で2エンド行う。
- (4) 2エンドの総得点で勝敗を決定する。2エンド終了時に同点の場合は、タイブレイク(ファイナルショット制度)で勝敗を決定する。
- (5) ジャックボールを含めた各チームの投球時間の合計は、1エンドあたりそれぞれ5分とする。タイブレイク(ファイナルショット制度)では、各チームの投球時間は設定しない。

4 コート

- (1) コートの大きさは12.5m×6mとする。
- (2) 競技にて使用するスローイングボックスは2番、3番、4番、5番のみとする。

5 ボール

- (1) 主催者にて以下のボールを用意する。
- (2) 主催者が用意するボールではなく、各自が用意するボールを使用してもよい。
ただし、用具の検査の結果、基準を満たしていないと判断された場合は、試合では主催者が用意したボールを使用しなければならない。

6 ウォーミングアップ

- (1) 会場内には練習専用コートは設置しない。
- (2) 第1試合開始前に30分程度行うことができる。また、各試合開始前に2分間ウォーミングアップ時間を設ける。

7 招集

- (1) 選手、競技アシスタント及びコーチは、使用する用具を持参のうえコートに入ること。
- (2) 招集時間に遅れた選手は棄権したものとみなし、試合に出場することはできない。
また、招集時間に現れなかった競技アシスタント、ランプオペレーター、コーチは原則として試合に参加できず、招集所に持参されなかった競技用具は試合では使用できないものとする。
- (3) 招集所には選手、競技アシスタント、ランプオペレーター及びコーチ以外は入ることができない。

8 服装

- (1) 服装は、競技に差し支えのないものを着用すること。
- (2) 番号布（ゼッケン）は、胸部か足（前面）につけるものとする。

9 表彰

表彰式は行わず、試合終了後、メダルを授与する。

10 その他

- (1) 競技場内へは、大会役員、競技役員、競技補助員や選手（競技者）及びあらかじめ許可された競技アシスタント、報道関係者以外は立ち入ることができない。
- (2) 競技の結果または行為に関する抗議は、引率責任者を通じて行うものとする。